



令和7年7月10日（木） 岐阜県発表資料			
担当所属	担当課・係	担当者	電話番号
希望が丘こども医療福祉センター	総務課	野崎	直通 058-233-7121 FAX 058-233-7123
医療福祉連携推進課	障がい児者医療推進係	水谷	内線 3282 直通 058-272-8279 FAX 058-278-2871

本日の取材は19時45分までをお願いします。

希望が丘こども医療福祉センターでの セアカゴケグモの発見について

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター（岐阜市則武1816-1）において、下記のとおり特定外来生物である「セアカゴケグモ」が発見されました。

なお、本事案に伴うけが人等はありません。

記

1 経緯

- 令和7年7月10日（木）正午ごろ、敷地内南側の園庭（地図参照）で、セアカゴケグモの疑いのあるクモ1匹（成体）を施設職員が発見。
- クモは駆除し、周辺に殺虫剤を散布。
- 県岐阜地域環境室へ確認を依頼したところ、セアカゴケグモ（メス）と確定。
- 施設職員が周辺を調査したところ、他に発見はなし。

2 対応状況

- 施設内各所の点検を強化するとともに、注意喚起の案内を掲示。
- 園庭での活動を当面の間、控える。

希望が丘子ども医療福祉センター 位置図



©岐阜県

<参考>

セアカゴケグモとは

特定外来生物で、国内では平成7年に大阪府内で初めて発見され、現在では全国各地で広く生息が確認されている。日当たりのよい暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣する。攻撃性は少なく、驚かせたりしない限り人を咬むことはない。

セアカゴケグモのメスは毒をもっています。

※咬まれた場合の症状

- ・咬まれた部分のまわりが腫れて赤くなり、痛みは全身に広がる。
- ・通常は数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの症状が数週間継続することがある。
- ・重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じる。

セアカゴケグモ 成体 (体長 8 mm)

